

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部農林水産局 総合農政課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 廣田 道夫 (皆木 治男)	内線	3927 (3944)
事業種目	経営構造対策 事業	事業名	事業区間	総事業費	約9.9億円
		経営構造対策事業	よかわ地区	内用地補償費	0億円
所在地			事業採択年度	着工予定年度	完成予定年度
美囊郡吉川町吉安			H14年度	H14年度	H15年度
事業目的			事業内容		
<p>新たな「農」の時代の創造に向けて、生産・流通・加工・販売・消費に至る複合アグリビジネスの展開を図るとともに生産者と消費者が共に集う都市農村交流施設を総合的に整備することにより、担い手となる経営体の確保・育成を行い地域農業の活性化を図る。</p> <p>本地区は酒米山田錦の主産地として高い評価を得ており、「山田錦」を地域のシンボルと位置付け、農畜産物の有利販売、販路拡大及び加工による付加価値向上などにより、地域農業所得を高め地域農業全体の発展を目指す。</p> <p>事業主体：吉川町</p>			<p>山田錦の館 1棟 2,088 m² 約9.9億円</p> <p>内 訳</p> <p>総合交流拠点施設（直売・調理販売・交流施設） 約8.6億円 規 模：1,820 m² (国50% 県0% 町50%)</p> <p>農畜産物処理加工施設（特産品加工施設） 約1.3億円 規 模：268 m² (国50% 県6% 町44%)</p> <p>* 吉川町の実質的な負担が生じないよう財源措置について検討中</p>		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	<p>兵庫県が全国に誇れる「山田錦」は、地域が誇る産業、文化の基軸をなしており、特に吉川町では土壌や環境が栽培に適しており、高級酒の原料として全国から高い評価を得ている。</p> <p>当町では酒米を中心に黒大豆、トマト、ピーマン等の多品目複合産地育成を進める一方、三田肉、神戸肉の供給基地としての強化を図っている。</p> <p>大消費地を控えた立地条件を生かし、農畜産物の直売、加工品の生産販売等の有利販売を推進するとともに「山田錦」を地域のシンボルと位置付けた都市農村交流により生産・流通・加工・販売・消費を一元的に発展させ、農業所得の向上を図る必要がある。</p> <p>このため、地域農業のPR・交流・イベント開催のための総合交流機能、農畜産物の直売機能、地域食材の供給機能、農畜産物加工施設等を一体とした総合交流拠点施設を整備する。</p> <p>このことにより、地域内の農畜産物の生産拡大・付加価値の向上により、経営体の所得の増大及び雇用機会の拡大、都市住民との交流が進み、魅力ある地域形成が期待できる。</p>				
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実施により次の効果が期待できる。 <li style="padding-left: 20px;">農畜産物の直販・加工販売等有利販売による農家所得増 72 百万円・年 <li style="padding-left: 20px;">都市農村の交流（入込客見込み約 1 2 万人） <li style="padding-left: 20px;">認定農業者の育成（現況 5 人 目標 1 5 人） <li style="padding-left: 20px;">新たな雇用の創出（ 3 1 人） ・ 投資効率 1 . 8 9 ・ 用地は確保済み（町有地） 地元協力体制も整っている。 ・ 施設立地は温泉館と一体的に整備するため、相乗効果が期待できる。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農産物は有機栽培・減農薬栽培を基本とした安全で新鮮な野菜販売、食材づくりを目指し、周辺環境への負担を軽減する。 				
(4)優先性	<p>本施設は、「山田錦の郷整備基本構想」に基づき、温泉館「よかたん」と一体的に整備するため、「農の時代」や「アグリライフ」の県民等への提案・PRの場としても効果的で、都市住民との交流によるアグリビジネスチャンスの増大により、担い手を育成するうえでも有効である。</p> <p>山田錦誕生 8 0 周年の節目である平成 1 5 年度の開館を目指している。</p>				
評価の結果	着手妥当	左の理由	上記内容により着手が妥当と認められた		

